

佳作

掌中のりんご

うらか

ひとびとは

檻をもって追いかけてきた

ひとびとは

布をもって追いかけてきた

ひとびとは

時をもって追いかけてきた

眼鏡をもつて

教師になつて追いかけてきた

ものさしやハサミをもつて

追いかけてきた

チヨキ チヨキ と

型紙をつくつて追つてきた

これが上等　これが安全と

セールスマンになつて追いかけてきた

ノツシ ノツシ と追つてきた

ながく　ながく　追いかけてきた

ズ、ズ、ズ・・・と攻めてきた

追いつめられた崖の上で　眠つた

よく眠れた　晴れたある日

わたしは

たったひとつの朝をつかんだ

ふんわりとはずむ

りんごのような赤い小玉が

掌にあった

だれにも揺り起こされず

力ゆるめて 座っていられる

居場所という 空間

だれも奪いとれない

掌中のりんご